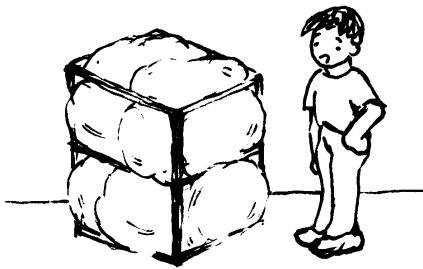


●立体作品に関して

《ここでは大きめの作品を例に基本的な内容を紹介しています》

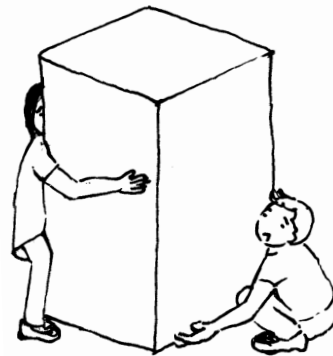
- ・開催県に到着した作品は、倉庫での検品と美術館への搬出入と、二回にわたって開梱と梱包をすることになります。長期輸送にも耐える堅牢な梱包材を使用して下さい。
- ・当然ですが作品の形状を知らない人が開梱します。緩衝材の過剰利用はかえって作品を傷める原因になります。作業効率の良いシンプルな梱包を心がけて下さい。

緩衝材で埋める必要はない。



これでは中身がわからない・・・。

外側を段ボール等で覆う必要はない。



も、も、持ちにくい・・・。

むしろ見える方が良い。



キャスター付きだと楽チン。

●お勧めの梱包材一覧

いずれもホームセンター等で入手可能です。

① 木枠を作るのに有効な素材

・ランバーコア

1825 mm × 915 mm × 15 mm で販売されている合板です。ランバーコアは軽くて作業しやすい利点があります。ホームセンターなどで必要寸法にカットしてもらうと良いでしょう。

② 作品を固定するのに有効な素材

・ひも

・スポンジ

・さらし

緩衝材をむやみに詰め込むよりも、これらの素材を使って外の木枠に作品を固定する方が安定します。形状に応じて作品の一部を縛ったり抑えたりするのに使用します。

③ 作品の一部を包むのに有効な素材

・薄葉紙 うすようし
(スパイダー紙)

突起の多い繊細なパーツを綿やプチプチで包むのは危険です。ひっかかりの少ない薄葉紙がお勧めです。お洋服を買った時に包んでくれるあの薄い紙です。